

令和2～5年度使用小学校教科用図書採択種目・発行者及び理由

種 目	国語	発行者	光村図書出版株式会社
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が、もっと知りたい、語りたいと主体的に思えるような教材が多数掲載されているだけでなく、人とのつながりを実感できるよう工夫されている。 ・ 特別支援教育やユニバーサルデザインの観点を取り入れ、読み書きが苦手な子も含め多様な子供たちに対するサポートの工夫がみられる。 ・ どの学年にも、現代から古典まで、良質で多様な読み物が複数掲載されており、読書習慣につながることを期待できる。 ・ インタビューの仕方、対話の練習等、楽しみながらスキルを身に付けられるよう工夫されている。 ・ 全学年に共通して巻頭に詩が掲載されており、その詩を読むことによって、音声表現を伴ったスタートができるよう工夫されている。
種 目	国語（書写）	発行者	光村図書出版株式会社
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 1教材1目標となっており、学習のねらいが明確化されていることや、導入・理解、確認、活用という学習の流れが一目で分かるようになっている。 ・ 「しょしゃたいそう」、なぞり書きや空書きなど、動作を伴った学びができるように工夫されている。 ・ 低学年では「できているかな」、中学年では「たしかめようシール」によって自己評価や他者評価ができるようになっていたり、6年生では「書写ブック」によって6年間の学びを振り返られるようになっていたりするなど、発達段階に応じた振り返りができるよう工夫されている。 ・ 家庭や地域社会との連携や防災、異文化理解等に関することを題材にして、招待状の書き方や、横書き、リーフレットの作り方、英語、インタビューメモ等のスキルを身に付けることによって、学んだことが日常生活に生きるようになっている。
種 目	社会	発行者	教育出版株式会社
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学習問題をつくろう」「予想して学習計画を立てよう」「調べる」「まとめる」「次の学習や暮らしにつなげる」という問題解決の流れと、社会科の見方や考え方が、全学年の巻頭に示してあり、4年間の学習が一貫したものとなるようにしている。 ・ 「みんなでつくった学習問題」をもとに、友達と考えたことを話し合ったり発表したりするといった、多様な活動が具体的に示されている。 ・ 3年生の巻末に「わくわく社会科ガイド」があり、情報の集め方、読み取り方、まとめ方が、写真やイラストなどを用いてわかりやすく説明されている。 ・ 4年生の「広げる」では、箱根寄木細工に関わる小田原市在住の親子が掲載されているなど、全体的に実在する人物の顔写真が大きく紹介されており、興味を持つきっかけになる。 ・ 6年生では、導入でオリンピック・パラリンピックを扱っており、インクルーシブな視点をもって社会科の学習を進めることができるようになっている。

種 目	地図	発行者	株式会社帝国書院
			<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「地図って何だろう」「地図のやくそく」「地図帳の使い方」が掲載されており、地図帳の基本的な使い方や距離の求め方、縮尺について等の説明が充実しており、地図の見方を十分理解できるつくりになっている。また、巻末の資料も分かりやすい。 ・色使いが柔らかく全体的にすっきりしていること、イラストを多数取り入れていることから、視覚的に必要な情報を読み取りやすいつくりになっている。 ・全ての見開きページに「地図マスターへの道」というコーナーがあり、クイズに答えることで地図に親しめるようになっている。 ・広く見わたす地図と、詳細の地図があり、発達段階や目的に応じて使用できるようになっている。
種 目	算数	発行者	学校図書株式会社
			<ul style="list-style-type: none"> ・本単元で基礎基本を身に付け、特設単元や「深めよう」で理解を深め、必要に応じて巻末補充問題に取り組むことによって、段階に応じた学習を積み上げていくことができるようになっており、一人一人の学習が確かなものになることが期待できる。 ・中学年では、子供たちがつまずきやすい「倍」の考え方について特設ページで繰り返し扱うことによって、重点的に学習できるようにしている。また、計算や面積等の学習では、図やイラストなどを用いて、視覚的に理解できるように工夫されている。 ・「深めよう」では、算数を使って日常生活のものを調べるなどの活動を通して、生活の中で活きる算数となるように工夫されている。 ・サイズがA4ワイド版のため、教科書に直接書き込んだり教科書上で作業したりしやすくなっている。 ・「～したいな。」のように、子供が主体的に考えられるような視点がある。
種 目	理科	発行者	大日本図書株式会社
			<ul style="list-style-type: none"> ・「問題→予想→実験→考えよう→わかったこと→問題を見つけよう」という問題解決の流れが明確で、進捗を確認しながら学習できるよう工夫されている。 ・実験や観察の記録の取り方やノートへの描き方が丁寧に説明されており、科学的な記録の仕方が身に付くようにしている。 ・「理科の玉手箱」等の読み物を豊富に掲載しており、子供の興味関心を高められるようにしている。また、「サイエンスワールド」では、中学年から中学校で学ぶことを発展的に扱い、校種間での接続を意識したつくりになっている。 ・ESDや環境、命、伝統文化、英語の学習につながるような内容になっており、生活に役立つ学習となるよう工夫されている。
種 目	生活	発行者	光村図書出版株式会社
			<ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムとして、就学前の子供の活動を踏まえて小学校生活へとスムーズに導入できるような配慮があり、好奇心を育むような問いかけや言葉等が使われている。 ・各単元が、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成されており、学習の見通しを持ち、主体的に活動し、振り返りで学んだことを深められるようになっている。 ・ページごとにホップ・ステップ・ジャンプのシールが貼れるようになっており、子供が様々な気づきを記録していけるようになっている。また、貼り替え可能なシールになっているため、一年間の学びを視覚化して振り返ることができる。 ・「ジャンプ」の部分には、質の高い気づきの例となるような子供同士の対話を複数掲載してあったり、「どうすれば」というコーナーで考えるポイントを示したりすることにより、気づきや思考を促す工夫をしている。

種 目	音 楽	発 行 者	株式会社教育芸術社
<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを「つながる」として、「子供と生活や社会」「子供と子供」「音楽の学び」をもとに内容を構成しており、子供の学びと社会、人とのつながりを考えられるようになっている。 ・低学年では、身体を動かす、リズム打ち、友達づくりなど、スタートカリキュラムを意識した教材の配列となっている。 ・「ドレミ風船」のイラストが複数ページにあり、指をさしながら歌うことで楽しく音の高低を意識できるよう工夫されている。 ・歌唱 - 器楽 - 鑑賞、歌唱 - 鑑賞 - 音づくりのように関連付いた教材で単元が組み立てられていたり、複数の曲を関連付けて掲載したりしているので、実態に合わせて選択することができる。 ・リコーダーについては、演奏のページに指使いが分かりやすく掲載されており、苦手な子供に対する配慮がある。 			
種 目	図画工作	発 行 者	日本文教出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・素材をもとに、どのような活動を展開するかという、イメージを膨らますことのできる写真が多数掲載されており、子供たちの心を揺さぶる工夫がなされている。 ・形や色等をイメージし、五感を使った活動につなげられるよう、子供の会話やキャラクターからの言葉かけがある。 ・題材ごとに示されている3つの学習のめあてが、表現につながるヒントになるよう工夫されている。 ・製作のほか、創作を職業とする人物の紹介や、鑑賞として様々な展示の種類、ギャラリートークやワークショップなど、子供たちが取り組みやすいものを紹介している。 ・材料と道具の解説の中に、デッサンの説明、材料と接着剤の適合表等が掲載されており、子供たちの製作の参考になる。 			
種 目	家 庭	発 行 者	開隆堂出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の生活を見つめ直していくというストーリー性があり、自ら生活の中で課題を見いだし、主体的に解決できるよう工夫されている。 ・文字が少なく短文で書かれているなど情報が整理されており、必要なことを理解しやすい。また、A4版よりも小さめのサイズのため、教科書を机の上に置いたまま作業を進めることができる。 ・「生活の中のプログラミング」では、ご飯とみそ汁を同時に作ることでプログラミングの初歩を学べるようにしている。 ・災害時の具体的な対応を示す「防災マーク」を記載し日常で防災意識を高められるようにしている。また、様々な生活習慣を関連付けて考えられるようにしたり、食事のマナーやアレルギーについても取り上げたりしており、健やかな心と身体について考えられるようにしている。 			
種 目	保 健	発 行 者	株式会社学研教育みらい
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって心身の健康を保持するための資料や事例が多数掲載されており、子供たちにとって理解しやすいつくりになっている。 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」という学習の3つのステップが明確に示されており、子供が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。 ・単元の最後に見開きで「もっと知りたい」「調べたい」など、学習したことを幅広く、深く学べるようになっている。 ・話し合う、発表するなどの活動が多数取り上げられており、主体的・対話的で深い学びを可能にする工夫がなされている。 ・学習したことを、自分自身の生活と関連させながら、家庭や地域でさらに深められるような工夫がなされている。 			

種 目	英語	発行者	開隆堂出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> • 聞く、チャンツ、話す、振り返るという一連の流れがわかりやすく、書いたり聞いたりするだけでなく、身体を使って学ぶ工夫がなされている。 • 巻頭の「can do マップ」には、1年間でどのようなことを学び、どのようなことができるのかが示されており、目標が見えるようになっている。 • 「文字に慣れよう」では、学校の実態に応じて授業の時間を柔軟に効率的に使うことができるよう、モジュール学習に対応した構成になっている。 • 様々な活動で他教科と連携しているため、内容言語統合型学習の入り口となっており、英語だけに留まらない学力の向上を期待できる。 			
種 目	道徳	発行者	株式会社学研教育みらい
<ul style="list-style-type: none"> • 主題名が掲載されておらず、問いかけも少なめでシンプルなつくりになっており、実態に合わせて多様な学習を展開することができる。 • 自分のこと、社会と私のこと、あなたと私のこと、命や自然と私のことという表示があり、自分と何について考えるのかというヒントになっている。 • いじめ防止につながる教材や内容を多数取り上げていることに加え、いのちと生き方を柱に生命尊重が重視されており、他者とともによりよく生きることについて全学年で系統的に学べるようになっている。 • 巻頭には自分のプロフィールを記入するページ、巻末には自分自身を振り返るページがあり、自分自身で1年間の成長を振り返ることができるようになっている。 • 現代的な課題として、情報モラル、キャリア教育、伝統文化の継承、ESDのほか、日本各地に関連する教材が掲載されており、子供たちの視野を広げることができる。 			